

令和8年度 第2回 学校運営協議会議事録

日時 令和8年7月1日(水) 12:00～15:30

場所 下野市立緑小学校 会議室

参加者 田村 伸子 委員 小嶋 英史 委員 山中 英雄 委員 草川 奈津子 委員
中嶋 孝子 委員 齋藤 篤子 委員 鈴木 寧子 校長 芋川 晴恵 教頭
坪山 仁 地域学校協働活動推進員 海老原 忠 地域学校協働活動推進員
欠席者 井上 江梨子委員 上野 友美 教務主任 室井 将男 地域連携教員

1. 開会 自己紹介

(1) 校長あいさつ

(2) 日程説明

2. 給食準備・配膳参観

3. 協議・・・(司会 田村会長)

(1) 給食、授業参観について

(小嶋委員) 給食はみんな行儀良く食べていた。コロナ禍に入学した子たちなので、前向き給食が当たり前だと思っているため、あえてグループにしなくてもいいと思う。授業参観では、5年生の授業進度が同じだったが、進度を合わせているのか。6年生ではタブレットを使いこなしていたが、入力の方法が若干違うようだった。ローマ字入力ができるようになるとうい。他の子の画面が共有できるとよい。全体に示す際に、モニターだけでは字が小さいように感じた。父親の参加が多いのが印象的だった。グループ学習やペア学習が多かったが、このような形態を積極的に取り入れているのはとてもよいと思う。大学でもアクティブラーニングの重要性を感じ、講義型の授業からの転換を図っている。

(山中委員) 給食がおいしかった。栄養職員の話から、子供たちが興味をもつような取組がされていることが分かった。配膳では、教員もよく協力していたし、子供たちも静かに配膳等ができていた。ICTを活用した学習が盛んだが、情報をきちんと選べる力が必要だと思う。5年生の算数を参観したが、内容が難しそうだった。大変そうだが今から頑張ってもらいたい。

(草川委員) 上手に配膳し、静かに食べていた。グループで食べる必要性は感じなかった。アレルギーの問題もあるので、前向き給食でよいと思う。子供たちの食に対しての興味がわくような取組がされている。食への興味関心を高める工夫として、学校で親子調理等があると楽しみながら学べるのではないかと思う。5校時の授業では、1年生が一生懸命発表している様子が印象的だった。低学年がとても楽しそうに学んでいてよかった。6年生も熱心に学習していたが、調べ学習のテーマが大きく、時間が足りない様子だった。もう少しテーマをしぼった方が取り組みやすいのではないかと思った。

(中嶋委員) 給食の配膳や食事の仕方がよかった。子供たちがとてもおいしそうに食べていた。配膳台の食缶は空になっていたが、残食はあるのか気になった。栄養職員さんが子供たちと接することができるのはよい。子供たちの食への関心や食べる意欲にもつながっている。たけのこの皮むきの動画を見たが、その活動に参加できた児童はとてもよい経験ができたのでは。特にこの地域だからこそ、体験が大切。授業は話し合ったり聴き合ったりと、研究テーマにあった授業をしようとしている様子が見られた。タブレットでとったアンケートを基に授業をしている学級があった。デジタル機器の正しい使い方を学校で学び、それを実際の生活と結びつけられるとよいと思う。

(校長) どうしても残食はでるが、配膳の段階で配慮をしている。体験活動に関しては、学校近くの田を借りて、5年生が総合的な学習の時間に実際に稲作の体験をしている。貴重な体験活動になっている。

(齋藤委員) 1年生には学び合いの授業は少し難しそうだったが、学年が上がるにつれてできるようになってくると思う。授業中の姿勢があまりよくない児童がいたのが気になった。給食試食会では学校栄養職員の存在を知ることができてよかった。今後、センター給食に変わっても、ぜひこの味をキープしていただけるとありがたい。

(坪山推進員) 栄養職員の努力を知った。給食は楽しいものだと思うので、食への感謝の気持ちを持たせるとともに、たまには楽しく食べる工夫ができるとよいと思う。授業参観では、子供たちの意見をいかに引き出すかということに力をいれた授業が多かった。

(海老原推進員) 給食の配膳がスムーズだった。それが子供たちの食べる時間の確保につながっていると思う。若い先生方がよく頑張っていると思う。先生方に子供たちと向き合う時間をたっぷり与えるためにも、地域や保護者のサポートが必要になってくる。ぜひ、積極的に地域の力を活用してほしい。今日は掃除がなかったのに各教室がきれいだったことに感心した。

(田村会長) デジタル機器を使った授業では、子供たちは慣れた手つきで操作していた。今後もデジタル機器の活用は必須。先生方の授業づくりについて頑張っている様子が見られた。

(2) 本年度の重点等について

◎デジタル機器の効果的な活用について

(小嶋委員) タブレットを使った学習が盛んに行われているが、ノートやプリントを使った授業とどちらが多いのか。どちらにも良い点と悪い点があり、どちらがいいのか分からない。

(校長) 学習内容に応じて、両方使っている。現段階では、小学校では、ノートの使用がメインになっている。タブレットは補助的なものとして活用していることが多い。意見を出し合う際も、付箋紙に記入する場合もあるし、タブレットに記入する場合もある。学習内容や場面に応じて使い分けているが、効果的に活用するためには教師側が使いこなせている必要がある。

(田村会長) ICT 機器を多用していくことで、教員側の負担はないのか。

(校長) 教師側が使いこなせるように、年に数回の研修を行っている。

◎ブロックチーム制について

(齋藤委員) 教員が若いので、子供たちとの距離感も近い。なんでも相談できる関係であってほしい。たくさんの先生で見てもらえるのはよい。それぞれの先生の特徴を子供たちはよく分かっている。職場の環境は子供たちにも影響を与えるので、よい環境であってほしい。

(田村委員) ブロックチーム制で、担任以外の教師ともふれあえるのがよい。

(中嶋委員) 支援の先生の動きがとてもよかった。支援の先生がいると、担任も助かるのでは。

(校長) 1、2年生に一人、3、4年生に一人支援員がついている。高学年に支援員はつけていないが、その代わりに、無担の教員がブロック主任としてサポートしている。

◎保護者との連携について

(草川委員) 授業参観の保護者の出席率をみると、学校への関心の高さが伺える。

◎食育推進について

(中嶋委員) 給食試食会の評判がよかった。栄養職員が様々な工夫をしていてとてもよい。センター食になるのは決定なのか。

(校長) センター給食は決定事項。施設の老朽化が理由の一つ。

◎教科担任制について

(坪山推進員)教科担任制は実際にできているのか。また、その効果はどのようなものか。

(校長)物理的な人数の足りなさが問題で、教科担任のできる教科は少ない。どうしても技能教科に偏ってしまうところはあるが、担任の負担軽減には繋がっている。また、学級の子供たちを担任だけでなく、多くの教員の目で見守れるところはよい。様々な教員と関われるところは、子供たちにとってもよい。

◎保護者や地域との連携について

(海老原推進員)保護者、地域との連携はどのような現状か。

(校長)継続できているものと、休止中のものがある。

(海老原推進員)委員の皆様で、学校とボランティアをつなげていただけるとありがたい。

◎挨拶について

(田村会長)時々、交通指導員さんと一緒に活動しているが、挨拶ができる子とできない子がいる。

(齋藤委員)朝の立哨でも、年々、挨拶ができなかったり、会釈ができなかったりする子供たちが増えているように感じる。

(山中委員)挨拶をするのは、地域で生活していくためにも大切なことであり、挨拶は地域との繋がりの基本なので、ぜひできるようになってほしい。

(3) その他(事務連絡)

○今後の予定

・第3回学校運営協議会 …2月1日(月)14:00~15:30

学校評価、職員との懇談会

☆二中学区学校運営協議会 …9月17日(木)緑小学校にて

※詳細は決まり次第連絡

○その他の学校行事について。皆様に出席していただきたいもの。

・9月30日(水) …下野市児童表彰式(9:00~9:45)

・10月31日(土) …運動会(午前のみ) :雨天11月1日(日)順延

・3月18日(木) …卒業式